

防災訓練から学ぶ

〔PHOTO〕

5 防災マップを活用した避難経路の確認

6 図上訓練の様子



〈1〉知る・学ぶ

防災訓練では、防災マップを活用しながら、5段階の警戒レベルに沿った避難経路の確認等を実施しています。自身の住む地区には、どのような災害における危険があるのかを住民たちが話し合い、確認することができる機会となります。

また、地域住民の代表や住民に密接な方たちを中心に、「図上訓練」を実施しています。

「図上訓練」とは、災害想像力ゲームとも呼ばれる訓練で、災害課題図に色を塗ったり、付箋を貼りつけたりしてチームで話し合いを行います。今まで村で発生した災害などを振り返りながら、危険個所の抽出や支援が必要な人たちに対しての対応など、一人ひとりが意見を出し合うコミュニケーションを体験できる貴重な機会です。

防災訓練に参加することで、自身の住む地域はどのような場所なのかを学び、知り、避難時の備えを身につけることができます。

〈2〉行動する

防災訓練は「避難訓練」か

ら始まります。屋外スピーカーや東秩父村ならではの全世帯配布防災タブレットを用いて発信された避難情報を聞き、避難所に集まります。

〈ポイント〉

屋外スピーカーで発信している情報は、タブレットでも同様に発信をしているため、日常的な確認をお願いいたします！

また、避難所での生活を想定して必要最低限の道具で食事をとるための知識を実際に体験する「食事ワークショップ」も実施。過去に実施した防災訓練では、東秩父村で昔から食べられてきた郷土食「水焼き」を作りました。

自分たちでできることを実際に体験し、もしもの時に行動できるように備えておきましょう。

〈お知らせ〉

令和7年度御堂・奥沢地区において地域防災訓練を実施します。

●日時 9月27日（土）

●日時 午前9時開始

●場所 東秩父村役場2階
大会議室

家での備えを確認!

家庭での備え、忘れていないことありませんか？

地震への備えをまとめた下のチェックリストで、家庭の地震対策を自己診断してみてください。

－備え9項目－

- 家の耐震とタンス、テレビ、食器棚などは、しっかり固定していますか。
- 懐中電灯・警笛・スリッパ（靴）を、寝室に常備していますか。
- 非常持ち出し袋（防災リュック）は、各自で準備していますか。
- ラジオと携帯電話は、予備電池も準備していますか。
- 最低3日分の非常食・保存水は、自宅に備蓄していますか。（水1人1日3ℓが目安、食料としてご飯（アルファ米など）、ビスケット、板チョコ、乾パンなど）
- 常備薬は、最低1週間分準備していますか。
- 避難場所と避難所への避難経路（昼・夜）は、事前に自分で歩いて確認していますか。
- ハザードマップで地域の災害リスクを確認していますか。
- 家族との連絡方法と合流場所は決めていますか。